

# 子どもを中心に据えた地域づくり

## 楽しみを共有しながら、未来につなげるパートナー

市内7つの小学校に設置している放課後子ども教室「いせはら未来っ子クラブ」は、さまざまな体験とおおむね地域住民や異学年との交流ができる、放課後における児童の居場所です。日々多小学校では、地域で立ち上げた団体「未来っ子パートナー」に市が委託して、運営しています。



未来っ子パートナー代表 熊谷 吉晴さん (申橋、75歳)

「放課後に学習の場を」という保護者の願いを受け、平成29(2017)年に比々多小学校の校長だった山口賢人さん(現在の教育長、5面)と放課後学習教室を開設しました。同時に放課後子ども教室事業が生まれ、「未来っ子クラブ(ひびた教室)」と改名した後、効率化や地域主体による事業の実施を目指し、現在の形ができあがりました。スタッフのほとんどが地元二元教職員や塾講師で、懇切丁寧に勉強のサポートをして

いるほか、月1回程度のレクリエーションでは比々多こま倶楽部が大山こまの投げ方を教えるなど地域の方がそれぞれの特技を持ち寄り、開催しています。念頭に置いているのは子どもの「居場所づくり」。ひびた教室では、まず30分の学習時間で宿題や予習・復習をした後、工作や読書など好きなことをして遊びます。何で遊ぶかは、子どもの主体性に任せています。

参加している児童が高学年になったとき、私たちが教えたことを低学年の子に自然に伝えていく光景を見ると感慨深いですね。児童と触れ合うことで、スタッフや私自身も活力をもらっています。

## 地域や家庭で、子どもたちを守りましょう

周囲の人々に温かく見守られ、サポートを受けることで、児童・生徒は健やかに成長していきます。

### 7月は青少年の非行・被害防止全国強調月間

学校や勉強から解放されて、子どもたちの気が緩みがちな夏休みは、非行の兆しが出やすい時期です。また、「新しい生活様式」がスマートフォンやSNSをより身近なものとし、青少年がインターネットを通じて犯罪被害やトラブルなどに巻き込まれるケースが増えていきます。中でも児童の被害増加は全国的に深刻です。

大切な子どもたちを非行・被害から守るために、家庭や学校だけでなく、地域一体となって次のようなことに取り組んでいきましょう。

- ◆家庭内でスマートフォンやインターネットの利用についてルールを決める
  - ◆フィルタリング機能を活用する
  - ◆夜遅くに子どもだけで外出させない
  - ◆いつもと違うと感じたら声をかける
- ※強調月間については、市ホームページ「子育て・教育」→「青少年相談」にも掲載しています◇右のQRコードからもご覧になれます



市ホームページ

#### ご利用ください 青少年相談

青少年本人および保護者からの相談を受けています。気になることがあったらいつでも連絡してください。

**ヤングテレホン**(本人用) ☎96-0800

**青少年相談**(家族から) ☎94-1030

**受付時間** 平日の午前9時～午後5時(年末年始を除く)

**メール相談** [young-soudan@isehara-city.jp](mailto:young-soudan@isehara-city.jp)

**受付時間** 24時間受付※回答に時間がかかる場合があります

☎青少年課 ☎94-4647

### 7/11～20 夏の交通事故防止運動

～安全は心と時間のゆとりから～

夏はレジャーなどによる過労運転や特有の解放感による無謀運転などが原因で交通事故が多発します。

市民一人一人が交通安全について考え、交通ルールの順守とマナーの向上に取り組みましょう。また、例年夏休み期間は自転車による事故も多く発生しています。子ども同士の外出が増える時期、家族で声かけや交通ルールの再確認、そして地域全体で子どもたちを見守り、事故を防ぎましょう。

☎市民協働課 ☎94-4715



おりがみ工作は児童に大人気

もともと、農業やパン作りには全くの素人でした。38歳で心筋梗塞で倒れてから半年間、健康維持のため、ブノワトンという板戸にあるパン屋さん(当時の店主・高橋幸夫さん)の意志を継いだ現在の「ムール・ラムール」に歩いて通うようになりまして。高橋さんから「パン職人になる子が伊勢原から育つていくといいね」というお話があったので



麦踏み塾 事務局長 田谷 純平さん (78歳)

2月7日、大田小学校の3年生が食育授業の一環として学校近くの畑で麦踏み\*を体験しました。市内で小麦を栽培する農家や製粉する会社、パン屋が協力し、始めた食育活動団体「麦踏み塾」の協力のもと平成29(2017)年から行われているもので、種まきから麦踏み、収穫までの一連の作業を学習しています。

\*早春に麦の根を踏みこむことで、根張りを強くする作業

がこの活動の原点です。本格的に大田小学校で作業体験を始めたのは、今の中学校1年生が小学校3年生だった頃です。学校の周りに畑が広がっていたことと担任の先生のご理解があったことが大きな後押しになりました。市内では令和元(2019)年時点で年間約18トンの小麦が生産されており、県内第3位の出荷量を誇ります。それを子どもたちに知ってもらい、自分が育った場所で、農家が一生懸命に小麦を収穫、粉になったものを丁寧に練りあげることによってパンという製品が作られる、私たちの食卓に並んでいる。そういうことを大人になった時に思い出してもらえると嬉しいですね。



力いっぱい麦を踏みしめる様子

酪農家は効率的に農地を耕作できる大型の農機具を所有しているため、農業の担い手不足などが原因で耕作できなくなった農地の所有者から農地の管理などについて依頼される場合があります。牛を育てる以外の仕事も酪農家にはあるということや、飼料づくりに必要であることを知りながらも機会になればと



荒井農場 荒井 新吾さん (西富岡、61歳)

\*農作物が1年以上作付けされず、農家が数年以内に作付けする予定がない田畑や果樹園

思い、今回のプロジェクトを行いました。ただし、農地を耕すだけでなく、美しい景観づくりにもつながっていました。自分が自分の身長よりも大きく育てている菜の花を見て驚いている子もおり、うれしそうな様子が印象的でした。年末年始や年度末などは学校給食向けの需要がなくなるようなことが影響し、牛乳の消費量は落ちてしまっています。こうした事態を少しでも和らげるため、児童の皆さんには酪農業を理解してもらい、牛乳を自宅で消費する機会を増やしてもらえたらうれしいですね。体の発達に重要な栄養素であるカルシウムを手軽に取れますよ。

### 一緒に小麦を育てることで、児童に食育体験を提供

保護者や市民団体など幅広い人々の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えることは、学校を核にした地域活性化にもつながります。地域で次世代を担う若き力を育てる手助けをしている人々に、活動の内容ややりがいを感じる瞬間について伺いました。

### 牛を育てながら農地を守る。酪農家のお仕事を体験

酪農家のお仕事を体験



6年生の児童67人が菜の花を観察

### 相模の大地を望む緑の公園墓地

宗旨・宗派不問

おかげさまで好評受付中

1.0m<sup>2</sup> 施正例

お手頃価格	墓地使用料
	墓石工事代

**126.9万円**より

年間管理料(別途)が安心価格の2,200円

公益財団法人 相模メモリアルパーク ☎0120-000-375

〒243-0308 神奈川県愛甲郡愛川町三増109-2 石材センター営業時間 8:30~17:00(水曜定休)

(一財)神奈川県教育福祉振興会指定 (一財)神奈川県教育会館指定 (一財)神奈川県厚生福祉振興会指定 神奈川県町村職員共済組合指定 許可年月日/平成5年7月30日 許可番号/神奈川県指令生衛 第131号

### 不動産に関わる 終活のことなら大雄へ。

終活の基本でお悩みの皆様 「考えた時」が「相談時」です

いままら聞けない

元気な内にやっておきたい「終活」手続き等について何をすれば良いか... ご相談内容はどんなものでも構いません。お客様一人一人の状況に合わせて親身に対応させていただきます。お気軽にご相談ください。

DAIYU 株式会社 大雄 TEL: 0463-33-8000

HPはコチラ

中原店 〒254-0075 平塚市中原1丁目17番1号

神奈川県知事免許(13)第7627号(公社)全国宅地建物取引業保証協会会員 (公社)神奈川県宅地建物取引業協会会員 (公社)首都圏不動産公正取引協議会加盟